

明治廿年春嘉蘇川
 其雄鉄橋上を通る
 オモチヤの柵を汽カシマ
 八化ツミの貨車十三台
 飯塚駅の緩坂を青イキ
 吐息で進行して左
 シンチウのストンガッブ
 だけじかく光ってんだ



明治二十二年に筑豊興業鉄道株式会社で、若松、直方、開通
 同二十八年飯塚、碓井、三十年四月九州鉄道株式会社
 三十二年大隈、世罕、上山田、天道、長尾(桂川)
 三十五年(山野、貨車)田川線、甲申伊田線
 鉄道は日進月歩、枝をのぼす、石炭運送
 の川船舟頭は、失業者急増
 廿八年頃より(舟多くして)ヤマにのり
 めげる)ものが続いた、もとより
 体力強健な男が多く、ヤマの
 ゲサイニンに在れ、こむのも早かった、
 舟頭のグチ言
 ウム オカジョウキメ
 いよ、おいらの飯
 茶碗を叩きつぶした、
 おとされた

舟頭と陸蒸気 (C)Yamamoto Family 田川市石炭・歴史博物館/所蔵